

鋼製壁高欄

コプロ (Kowa Protector)



意匠登録第 1461809 号 壁高欄

- ◆ 壁高欄は橋梁・高架橋（構造物）等での二次災害を防ぐ防護柵として広く使用されています。鋼製壁高欄はコンクリート製壁高欄と比較して、重量の軽減や工期短縮等、トータルコストの軽減を可能とします。
- ◆ 床版との接合はスタッド（アンカー）ボルト方式の為、新設はもちろん、補修、補強、拡張工事にも対応でき本体の取替えも可能です。

ADVANCED TECHNOLOGY

KOWA

株式
会社

興和工業所

土木建材部

〒475-0032 愛知県半田市潮干町1-10

TEL(0569) 29-3041, FAX(0569) 29-3054

コンクリート壁高欄との比較

■ コンクリート製壁高欄と比較して、重量が大幅に軽量化され、主桁、床版、支承、下部工などへの負荷を低減できます。製品のイニシャルコストは高価になりますが施工手間や作業日数を考慮したトータルコストでは安価になります。

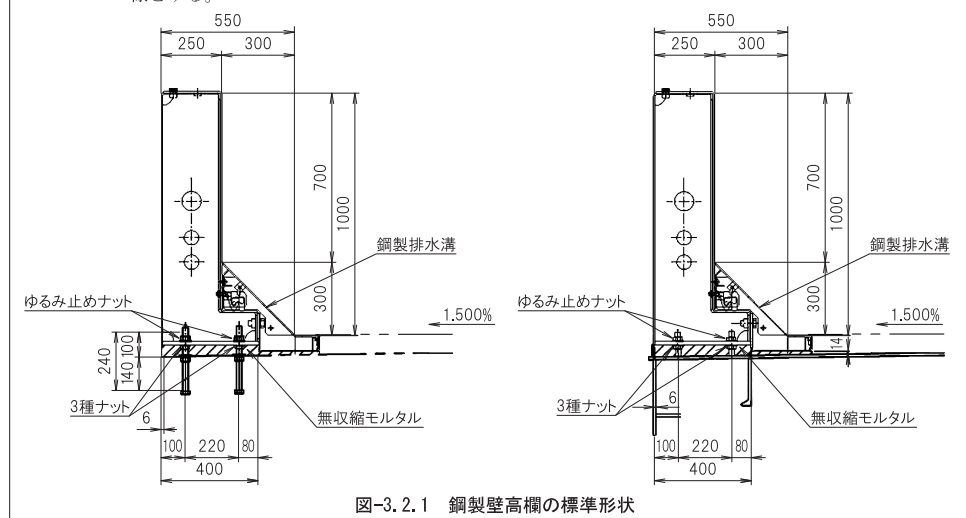
【フロリダ SB 種タイプ】 コンクリート製：780kg、鋼製：265kg	【首都高タイプ】 コンクリート製：890kg、鋼製：300kg

首都高速道路(株)の設計施工要領に標準形状として記載されています。

■ 附屬施設物設計施工要領（車両用防護施設編）2024 年 1 月版

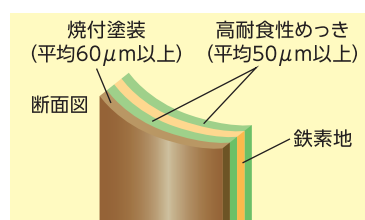
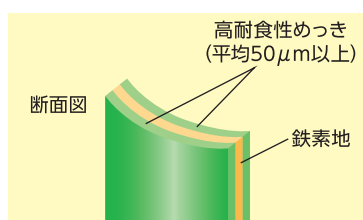
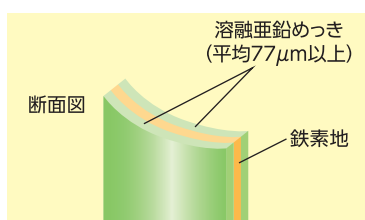
3.2 鋼製壁高欄の基本構造

(1) 鋼製壁高欄は鋼製排水溝付きを標準とする。高欄と地覆形状は、コンクリート壁高欄と同様とする。



表面处理

■ 選べる表面処理



工期・施工（組立）・品質

- コンクリート製壁高欄と比較し型枠組立、鉄筋組立、コンクリート打設、養生の工程が不要で工期短縮が可能となり都市部など施工ヤード、工期に制約がある工事に適しています。
- 製品の組立は各部材（本体、カバー、地覆カバー）をボルトで組み付けるため、作業効率が向上します。
- 材料の曲げ、切断、孔明け、溶接等の加工や表面処理（めっき、塗装）を全て自社工場で行い、品質の安定した製品を供給します。



納入梱包（ラップ梱包は塗装品のみ）



鋼製壁高欄本体



鋼製壁高欄本体カバー



鋼製壁高欄地覆カバー



スタッドボルトとの接合



スタッドボルトとの接合（拡大）

納入実績

国道 27 号青葉大橋高欄・遮音壁取替工事（京都府）



国土交通省 近畿地方整備局

青ノ木跨線橋（福井県）



福井県坂井農林総合事務所 / 西日本旅客鉄道(株)

高槻東道路仮称五領高架橋（名神跨道部）上部工事（大阪府）



大阪府 茨木土木事務所

国道 24 号新御殿橋上部工事（和歌山県）



国土交通省 近畿地方整備局

（改）板橋熊野町 JCT 間改良工事（東京都）



首都高速道路(株)

（改）堀切小菅 JCT 間改良上部・橋脚工事（東京都）



首都高速道路(株)

特殊仕様対応



遮音壁（落下防止柵）対応



拡幅対応



プルボックス対応



プルボックス本体